



「こころ」と「からだ」と「暮らし」を
支える作業療法士



巻頭言



人の縁

学術部精神障害部門 副部長
川上孝行（河口医院）



県士会という単語から何を想像するだろうか。今回の巻頭言を書くにあたり自問自答しながら背伸びすることなく私が経験してきたことを文章にすることで一人でも多くの会員の方に現在のご自身について考えてもらうきっかけになれば幸いだと思い、今回の文章を構成してみました。

私は人見知りで緊張しやすくコミュニケーションは不得手なのですが、人と交流することは大好きだと実感しています。右も左もわからない1年目の頃、今となっては懐かしい学術部精神障害部門の宿泊研修において他施設の先輩作業療法士に仕事の悩みを聞いてもらったり、臨床での実践を聞かせていただいたことは20年以上経った今でも大切にしており、「あの時のように温かい雰囲気に参加者を迎え入れたい」と思わせてくれた、私が県士会活動をしていく上での基盤となっている貴重な経験でした。そのような縁を感じる体験があったからでしょうか、県士会活動はもちろん、研究への協力や勉強会の企画運営に関しても声をかけていただく機会が増えていきました。「これも何かの縁であり自分を成長させてくれる貴重な機会だ。ありがたきお引き受けしよう。」という精神で多

くの活動に携わってきたことも私の財産となっております。縁があったから作業療法士としての仕事の視野が広がっており、充実した日々が過ごせていると思っており、そこから生まれた仲間たちとともに自己研鑽に励み、時には食事しながら夜な夜な作業療法談議に花を咲かせる時間は職業人としてのアイデンティティの形成に大きく影響した、何物にも代えることのできない有意義な経験です。そして私の恩師が仰られた「人との繋がりは貴重な社会資源」という言葉を今でも胸に刻みながら、止まることなく職業人としての歩みを進めていこうと思っています。

担当理事を仰せつかっています学術部精神障害部門では繋がりというキーワードを大切にしながら毎年研修を企画しております。ぜひとも自分から一歩踏み出してみてください。そして継続して参加することによって見えてくる景色は変わってくるかもしれません。私は多くの人との素晴らしい縁があったからこう言えます。「作業療法士という仕事が好きです」。皆様はいかがでしょう。





閉会式後の一幕

第36回岡山県作業療法学会は、4年ぶり対面での開催となりました。当日は、250人の参加者が集まり講義を熱心に聴講されたり、企業展示スペースで最新機器の体験や活発な意見交換が行われていました。ミニレクチャー・体験ブース、演題発表も多くの参加者に足を運んでいただきディスカッションをしている場面を目にしました。また、久しぶりに会った友人と近況を話したり、コロナ下においてオンライン上で知り合った方と実際にお会いした時身長が高いことに驚いたりと様々な発見があった学会となりました。

本当に多くの方にご参加いただきありがとうございました。また、対面での学会開催は、多くの会員のご助力の上運営されました。ここに当日協力いただいた運営スタッフの声についてもご紹介させていただきたいと思います。

第36回岡山県作業療法学会 実行委員長 酒井英顕

第36回岡山県作業療法学会の実行委員各班代表者のひとこと

演題係：村下佳（しげい病院）

今回の学会では、過去最高レベルの42演題という多くの演題数を集める事が出来ました。準備段階においては、その演題数の多さから大変な事もありましたが、なんとか与えられた役目を果たす事が出来たものと思います。また演題係では、今回の学会より新たな試みとして、「発表者が受賞できる賞を増やし」、「参加者によるgoogleフォームを使用した投票」を実施しました。結果としては、発表を行う先生方のモチベーションの向上に繋がったのではないかと考えております。演題係は大変な仕事でしたが、多くの先生方と交流するチャンスでもあり、やりがいのある仕事でした。新たな仕事にチャレンジする機会を与えて下さった実行委員長の酒井先生、ならびに仕事のサポートをして下さった係の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

シンポジウム：三宅伸吾（倉敷第一病院）

今回、「食事」「更衣動作」「上肢機能」「立ち上がり」についてミニレクチャーを行いました。学会長の思いをOTの仲間に伝えられるよう講義と体験ブースで直接レクチャーを実施し、体験ブースは大盛況で、約4時間途切れることなく分野を超えた多くの方に体験して頂きました。これからも今回の繋がりを大切に、岡山の作業療法を皆で盛り上げていきましょう！！



学会誌：田淵涼（リハビリステーションピース）

今回初めて実行委員という立場で学会の準備をさせて頂いて、様々な分野の先生方が熱い気持ちで会を作り上げている背景を間近で見させて頂き、改めて学会開催が出来る環境が当たり前ではないことを知ることが出来ました。学会参加前後で一度は目に通すであろう学会誌をいかに分かりやすく、いかに楽しくとったことを考えていかなければならないことも知るきっかけとなり、大変貴重な経験をさせて頂きました。学会誌作成にあたってサポートして下さった先生方には感謝しかありません。4年ぶり対面での学会では、多種多様な悩みをたくさんの先生方とお互いに話し合うことが出来て、とても良い刺激となりました。今回学んだことを次に繋げて頑張っていきたいとおもいます。本当にありがとうございました。



機器展示班：栗本大生（倉敷中央病院）

6社の企業様にご出展いただき、スタンプリーで講師の先生方の協力もあって、多くの方に足を運んでいただくことが出来ました。対面だからこそ直に意見交換ができ、盛り上がった企画だったと思います。来年も多くの企業様にご参加いただき、さらに盛り上げていきたいと思っています。機器展示へご参加された皆さん、ありがとうございました。



レセプション係：山本昌和（岡山旭東病院）

今回なんと77名の応募、当日は会場の関係もあり64名で開催となりました。本県学会の良い雰囲気のまま、岡山OT同士、そして山本先生、元廣先生と共に、ここ数年開催できなかった鬱憤を晴らすかのよう終始大盛り上がりでした！！レセプション係はとても雰囲気がよく、最高のメンバーでした！これら繋がりを大切に、また来年も楽しみが増えました。

会場：十河正樹（岡山医療専門職大学）

皆様にご尽力頂き、無事に会場運営できたこと心より感謝申し上げます。様々な領域・職場の方々と、「学会を盛り上げる（成功させる）」という共通の目標を持ち、学会準備等を共有することはとても楽しく有意義な時間です。是非、来年は運営スタッフとして学会に参加しましょう！

広報班：河田秀平（岡山リハビリテーション病院）

今学会では県士会員のみならず、学生さんや近県からも沢山のご参加を頂きました。これも、皆様にご協力頂き、公式LINEや代表者メール、Xなど多方面からしつとく広報が出来たからだと感じています。学会後もSNSでは県内外から岡山学会関連の熱いコメントが寄せられていました。これからも多様な世代が参加する熱気ある学会になればと思います！

講演班：難波加恵（玉野総合医療専門学校）

講師をはじめ先生方との意見交換の機会をいただき、改めて作業療法の魅力、そして可能性や夢を感じることができました。準備や運営の難しさを痛感しましたが、皆様との繋がりが深まり、学会成功へ向けて一致団結できたことを誇らしく思います。次年度は、「参加者の方々近くで関われる役割がしたい!!」と思えるとても素晴らしい学会でした。ありがとうございました。

事務金銭班：加藤舞子（倉敷平成病院）

事務手続きの中で多くの方とLINEやメールをしました。実は顔を知らない方も多く、当日は会場で顔と名前が合致したときは感動でした。また、当日短い説明だけで受付業務をしてくださったスタッフの方々には感謝しきれません。ありがとうございました。

運営スタッフのひとことは、6ページに掲載しています。こちらも、ぜひご覧ください。

県士会研修会案内

新人歓迎研修会

今年度の新人歓迎研修会は、対面式での開催をする予定です。新人の皆様に向けた役立つ研修会も企画中です。また、久しぶりに懇親会も開催する予定にしています。是非、会員同士の親睦を深めながら、楽しい歓迎会にしましょう！

日時：令和6年6月2日（日）

9時～15時

場所：ピュアリティまきび

内容：県士会活動の説明

新人歓迎研修会

総会 懇親会

**学術部精神障害部門
研修会**

テーマ

「精神科領域における評価とアプローチ
～それだけでなく精神科OTが大事に
したい考え方も～」（仮）

講師：岩根達郎先生（京都府立洛南病院）

日時：令和6年9月7日（土）10時～17時

会場：岡山医療専門職大学

申込開始時期：6月下旬（予定）

活動報告

中国地区作業療法士会合同研修会

令和5年12月16日（土）、17日（日）にYMCA 米子医療福祉専門学校にて、中国地区作業療法士会合同研修会が開催されました。各県の県士会長による士会の現状報告があり、その後、テーマごとのグループワークが行われました。グループワークでは①会員が生涯教育に興味を持つための工夫、②広報活動、③士会の福利厚生、学会運営（企画、査読）、士会運営の勉強会、④POSTの現状と活動内容・課題の共有、⑤子ども分野の作業療法についての5テーマに分かれて行われました。

翌日は、山本伸一先生（日本作業療法士協会 会長）より「作業療法 未来への提言～5年後10年後、その先に向けて～」というテーマで講演がありました。作業療法士の現状と課題、そして協会の様々な渉外活動についてご講演していただきました。

今回の研修会を通して、作業療法の未来を創るためには、勤務先・養成校・士会・協会・連盟が一致団結し取り組んでいく必要があることを改めて感じました。また、会員にとってより発展的な士会活動が行われるために、各士会での取り組みや意見を交わし、各士会間での連携や親睦を深めることができ、とても充実した合同研修会でした。12月の開催でしたので、岡山ではなかなか見ることのできない雪景色を見ることができました。



岡山士会参加メンバー



グループワーク

中国地区作業療法士会合同研修会 担当 西 悠太（倉敷平成病院）

作業療法フェスティバル

令和5年度作業療法フェスティバルが、令和6年1月28日に岡山県生涯学習センターで開催されました。今回のテーマは、『地域の作業療法について』であり、高齢者訪問領域・発達領域・精神科領域・高齢者通所領域から4人の先生方にご登壇頂き、わかりやすい事例を交えながら地域の作業療法について貴重なお話を聞くことが出来ました。私は、普段は回復期リハビリテーション病棟にて勤務を行っています。そんな私にとって、4人の先生方によって展開される作業療法はどれも新鮮なものばかりであり、良い刺激を受けました。お話を聞きながら、率直な感想として“地域の作業療法士ってすごいなぁ”とも思ってしまった。

また、作業療法フェスティバルでは作業療法関連のブース展示もあり、7つの企業・団体の展示がありました。



『地域の作業療法』について



作業療法関連ブース展示

私は、今回の作業療法フェスティバルでは企画の発案段階から携わっており、展示企業との連絡係・開催会場との調整、さらに当日の司会と多くの役割を担当させて頂きました。やりがいのある仕事ばかりでありとても良い経験になりました。



最後になりましたが、今回の作業療法フェスティバルは、YouTube配信（県士会ホームページ「WEB公開講座」・YouTube「作業療法フェスティバル」・QRコードで検索）を行っています。地域で働いている作業療法士の仕事内容を知れるばかりでなく、”作業療法の本質“を振り返るには良いテーマの内容になっております。是非、動画をご覧頂けたらと思います。

事業部 村下 佳（しげい病院）

介護支援専門員と作業療法士の合同研修会

事業部MTDLP班では毎年、介護支援専門員協会と合同で研修会を行っています。今年度は「生活行為向上の為に訪問リハビリを活用しよう」をテーマにして、2023年8月に基礎編の研修を実施、そして、この度2024年2月22日に応用編の研修を実施しました。応用編は、目標設定、目標共有に焦点を当て、作業療法士、介護支援専門員の双方の立場から臨床に即した目標設定のポイントについて講義をしていただきました。

グループワークでは、「入院から退院の連携、退院直後の連携、目標設定に難渋する場合の連携」という3つのテーマで話し合いを行いました。介護支援専門員からは、退院前の情報提供書にリハビリ内容や現状能力だけでなく、目標を記載して欲しい、早期から目標共有を行いたい、直接情報共有ができるようにするにはどうしたらよいかなど、現場に即した前向きな意見をいただきました。介護支援専門員と一緒に対象者の生活行為向上のためにできることを検討でき、大変貴重な時間となりました。

来年度以降も、作業療法士と介護支援専門員の連携強化を目的に研修を企画していきます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



講師および運営担当者

事業部 副部長 小坂美江（しげい病院）

学術部 身体障害部門 研修会



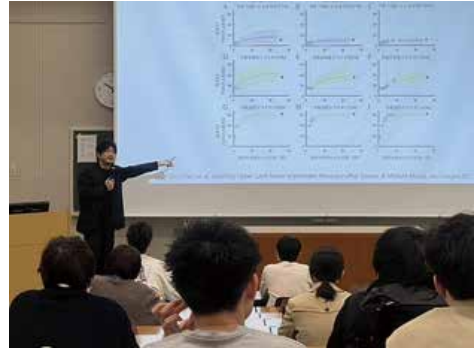
2024年3月10日に竹林 崇先生にお越し頂き、作業療法士の資質を養う「～先見の明：目標を定める予後予測の力～」をテーマに研修会を開催しました。研修会では、予後予測における基本的な考え方とともに、脳卒中後の上肢機能障害に対するアプローチについてご講演いただきました。学術部 身体障害部門では、臨床スキルの向上を目的に様々な研修会を開催しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

学術部 身体障害部門 副部長
渡部悠司（岡山医療専門職大学）

(参加者のコメント)

久しぶりの対面研修でご講義を拝聴し、大変有意義な時間を過ごすことができました。今回、「脳卒中後上肢運動障害に対する予後予測と最新の治療」といった内容でご講義をして頂き、予後予測の重要性や最新の上肢リハビリテーションについて幅広く学ぶことができました。予後予測では、研究で多用される統計用語や臨床での活かし方について解説して頂きました。その中で、予後予測を活用する重要性に加え、あくまでも臨床を計画する要因の1つに過ぎない意識を持ち、結果に一喜一憂せず、常に予後予測を超えるといった心持ちで対象者と関わることが必要だと感じました。今回学んだことを活かしながら、日々の臨床に取り組み、更なる成長に繋げていきたいです。

松下 創 (川崎医科大学総合医療センター)



学術誌編集部門からのお知らせ

「研究的取り組み促進に向けた相談室」を設置しました！

先日開催された県学会では、多くの演題発表を通じた交流があり盛況でした。ぜひ、今回の学会発表の取り組みを論文にまとめ直して、作業療法おかやまに投稿していただきたいと思っています。でも、事例報告の書き方がわからない？研究計画の立て方や手続きがわからない？など、興味はあるけど論文の書き方や研究的進め方がわからないと悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。

そこで、学術誌編集部門では、経験豊富な専門家ができる限りアドバイスをする取り組みとして「研究的取り組み促進に向けた相談室」を設置しました。詳細は、県士会HPの会員向け情報のページにある「学術誌編集部門からのお知らせ」をご覧ください。

学術誌編集部門は、会員皆さんの向上心を応援していますので、是非、お気軽にご相談ください。

学術誌編集部門：大野宏明 (川崎医療福祉大学)
E-mail : otokayama@gmail.com



学術誌編集部門
からのお知らせ



第36回 岡山県作業療法学会報告 (続き)

運営スタッフのひとつこと

学会長 青井 健 (倉敷市立市民病院)
関わった全てのスタッフのお陰で、思い描いた学会となりました。スタッフの皆さん、本当にありがとう。多くの旧友と久しぶりに楽しい時間を過ごすことができました。また来年の学会で会いましょう。



副学会長 西悠太 (倉敷平成病院)
当日は多くの方と対面で関わる事ができ、とても有意義な時間を過ごす事ができました！感謝です！

実行委員長 酒井英顕 (倉敷市立市民病院)
演題発表2つしましたが、どちらも賞は取れず・・・岡山学会はいい演題が多いです！来年は賞取るぞ！！

河本聡志（倉敷成人病センター）対面での学会再会で託児も準備しています。次回も準備予定です。是非ご利用いただき、学会に参加してください。

古崎勝也（済生会吉備病院）やはり岡山県作業療法学会が大好きです！！レセプションも最高でした！今後ともよろしくお願ひいたします！

山本昌和（岡山旭東病院）久々の対面で気持ちが高まりました。岡山県のOTで良かったです！また来年もお会いしましょう。

角南佑樹（倉敷市立市民病院）対面での学会で沢山のひとと臨床について話ができ、刺激になりました！とても楽しかったです。

徳地亮（川崎医療福祉大学）多くの旧友と久しぶりに楽しい時間を過ごすことができました。また来年の学会で会いましょう。

藤井裕康（福山市民病院）対面での学会は、新たな出会い、インスピレーションに溢れていて、最高でした！来年お会いしましょう！

小川明依（吉備高原医療リハビリテーションセンター）初めての学会参加で緊張しましたがとても楽しかったです。来年もスタッフとして携わりたいです！

長井健太郎（倉敷老健）文化祭みたいで楽しかったです。スタッフとしての参加もいいなと思いました。

竹本利絵子（岡山協立病院）体験ブースで皆さんと日々の疑問や悩みを共有出来て良かったです！これからも共に頑張らしましょう！！

十河正樹（岡山医療専門職大学）久しぶりの対面学会で、皆様にお会いすることができ楽しい時間を過ごすことができました。来年も楽しみにしています！

難波加恵（玉野総合医療専門学校）素敵な講師の先生方との出会い、そして皆さんと対面でお会いできてとても楽しい時間でした。感謝です！！

井村亘（玉野総合医療専門学校）久しぶりの対面での岡山県作業療法学会でした。楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

村尾利之（岡山県精神科医療センター）多くの方と交流でき、とても楽しい学会でした。これからも楽しく参加させていただきます！

大西正裕（玉野総合医療専門学校）学会で久しぶりに対面でお話することができ、有意義な時間となりました。ありがとうございました。

山本菜々子（岡山県精神科医療センター）対面の学会の楽しさ、作業療法の魅力を改めて感じることができました。来年も楽しみです！

和田大成（光生病院）対面の学会でとても嬉しかったです。実際に会っての意見交換は貴重で活力になりました。これからも頑張ります！

石井将人（富永調剤薬局）久しぶりの対面での学会でしたが、熱気に満ち溢れた学会だったのではないかと思います。本当に楽しい1日でした！

香川美恵子（玉野総合医療専門学校）たくさんの方と臨床のお話ができて、明日につながる学会でした。ありがとうございました！

長野早紀（済生会吉備病院）このような素敵な学会のお手伝いが出来て本当に良かったです。また来年も楽しみにしています！

唐川佳明（倉敷記念病院）このような素敵な学会のお手伝いが出来て良かったです。対面形式の良さを再認識しました。来年も楽しみにしています！

大月成美（倉敷記念病院）学会参加は初めてでしたが、多くの方とお話することが出来てとても楽しかったです。来年も参加したいです！

加藤舞子（倉敷平成病院）たくさんの方々と会えて、話せて楽しかったです。来年の学会も楽しみにしております！

時長綾子（岡村一心堂病院）久しぶりの対面での集まりで、色々な刺激を肌で感じることができました。とても貴重な時間でした。ありがとうございました。

西村拓哉（しげい病院）たくさんの方に参加し喜んでもらえて嬉しかったです！とても刺激になりました、ありがとうございました！

難波和広（玉野総合医療専門学校）学会はいつ参加しても元気を貰える気がします。たくさんの方とお会いして刺激になりました。ありがとうございました。

大野直人（倉敷リハビリテーション病院）久しぶりに対面形式の学会に参加でき、とても良い刺激になりました。ありがとうございました！

大倉健嗣（岡山労災病院）対面の学会で久々の再会もあり、実行委員をしたことで他の施設の先生方ともお話しが出来て良かったです！

秋元瑠衣（倉敷リハビリテーション病院）初めての学会で緊張しましたが楽しかったです。色々な方と出会えてよかったです。

常盛結希（倉敷記念病院）今回初めて学会に参加しました。たくさんの方の病院や施設の先生方と関わる機会が少なかったため、とても貴重な経験になりました。

真鍋圭（川崎医療福祉大学）対面形式での学会で顔馴染みの方とはもちろん新たな出会いもあり、とても素敵な時間を過ごさせていただきました。

山形隆造（川崎医療福祉大学）久々の対面開催ということで、色々な方と話ができて嬉しかったです。素晴らしい学会でした！

佐藤ひとみ（玉島中央病院）対面での学会、たくさんの方の出会いとたくさんの方の刺激をいただき、感謝しかありません。本当にありがとうございました。

三宅伸吾（倉敷第一病院）対面の価値を改めて感じました。分野を超えて交流も出来、有意義な時間でした。有難う御座いました！

栗本大生（倉敷中央病院）岡山には偉大な先生方が沢山いることが証明された学会でした！いつか先生方に追いつけるよう頑張ります！

石田真也（倉敷記念訪問看護ステーション）対面で先生方や学生と関わることができこれからの成長に繋がる学会でした。ありがとうございました。

安達幸宏（岡山リハビリテーション病院）とても濃い1日でした。濃すぎたせいか、レセプションのことはあまり覚えていません。また会いましょう！

堀内祐樹（さとう記念病院）
当日スタッフとして参加させて頂きました。久々の対面で熱気を強く感じながら学会を過ごせました。ありがとうございました。

有時由晋（岡山光南病院）
様々な内容先生方とお話が出来て、それぞれの価値観や考えを知る大切さを改めて実感しました！岡山県を盛り上げていきましょう！

太田有美（津山中央病院）
祝！対面形式の学会復活！！参加者、運営スタッフ、発表者など関わってくださった皆さまに心から感謝！

浦田 真弓（岡山リハビリテーション病院）
久しぶりの対面の学会だったので、いろいろな方に再会しお話できて良い時間を過ごすことができました。皆様、ありがとうございました。

小川奈緒（笠岡第一病院）
初めての参加で、緊張していましたが、最高の学会でした！来年も参加させていただきます！

田中聖浩（光生病院）
臨床を大切にしている先生が多く、もっと患者さんを良くしたいなど、治療者の魂を交流する事が出来て、とても楽しかったです。

有安芽衣（専門学校川崎リハビリテーション学院）
学生にも開かれた学会だったので、参加した学生も「楽しかった。OTとして働くイメージが湧いた。」と話していました。

西本由香里（倉敷神経科病院）
対面形式の学会の良さを改めて感じました。顔の見える関係は臨床の幅にもとても大切だと感じました。有り難うございました。

森親子（味野医院）
懐かしい先生方のご活躍を目にする事ができ、嬉しくて誇らしくて…素敵な時間をありがとうございました。

山本良太（岡山リハビリテーション病院）
初めての学会スタッフ側だったのですが楽しめました！たくさんの方と繋がりができてよかったです！

大見友里子（岡山リハビリテーション病院）
初めての学会で緊張しましたが、色々な先生方の話を聞くことができ良い経験になりました。ありがとうございました。

陶山夏実（倉敷記念病院）
1年目で役員として参加することができ、貴重な経験ができました。皆さんとお話出来て楽しかったです、ありがとうございました！

中村悠斗（倉敷成人病センター）
初めての対面参加で作業療法の魅力、OT同士の繋がりを実感することができました！ありがとうございました！

田淵涼（リハビリステーションピース）
実行委員・体験ブースのスタッフとして、貴重な経験をさせて頂きました。山本先生のサイン本大切に使用させて頂きます。

常久謙太郎（川崎リハビリテーション学院）
卒業生だけでなく在校生も参加してくれていたのがとても嬉しかったです

抽井智佳（水永リハビリテーション病院）
初めての学会で緊張しましたが楽しみながら沢山の事を学ぶことができました！ありがとうございました！

中空聡志（老人保健施設ゆめの里）
初めてスタッフとして参加させて頂きました。多くの方とお話することができ、有意義な時間でした。また来年も楽しみにしています！

乙倉萌（吉備高原医療リハビリテーションセンター）
ボランティアしながらですがお勉強させていただきました。ありがとうございました！

鍋倉由佳（岡山大学病院）
現地開催の学会の楽しさを改めて実感することができました。来年もお会いしましょう！

村下佳（しげい病院）
初めての実行委員は大変でしたけど、楽しかったです！今回の学会のいい流れを次回へと繋げて頂ければ幸いです！

河田秀平（岡山リハビリテーション病院）
対面学会最高でした！学会、実行委員を通して沢山の先生方と関わることができ、とっても貴重な体験になりました。

杉本努（佐藤病院）
数年ぶりに沢山の方とお会いできて、とても素敵な時間でした。運営に関わられた方々に感謝です！



学会当日は、多くの方にご参加いただきましたこと、大変感謝しています。
実行委員
運営スタッフ一同



Doctoral OT researcher Toruの1日 in the UK (午後編)

こんにちは、サウサンプトン大学（英国）の末吉 徹といいます。

2013年に川崎医療福祉大学を卒業、川崎医科大学付属病院に入職、2016年にトロント（カナダ）に単身渡航し、その後ウェリントン、東京、そしてイギリス（修士課程）で過ごす。現在、サウサンプトン大学の博士課程で小児義手の研究、教育を中心に従事中。

前回の午前中編に引き続き、今回は午後の英国Doctoral researcherの様子をお伝えします。



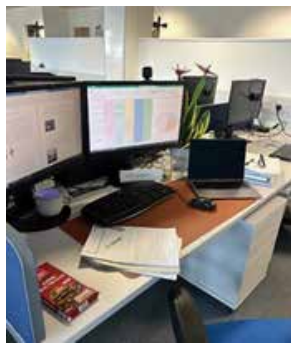
13:00 Lunch

イギリスの金曜日のランチはフィッシュアンドチップスが多いです。なぜか金曜の昼に食べます。カナダではケチャップでしたが、イギリスはお酢と塩を振って食べるのが一般的です。最初は、？としましたが、今では何も考えていなくても手が酢を振っています。



14:00 オフィスに戻り、自分の研究

ようやく自分の研究を進めます。現在は小児の把持パターンについて研究レビューを行っていて、毎日パソコンと睨めっこしています。スーパーバイザーを含め、すごく強いサポート体制の中、進んでいるのでとても安心して挑戦できる環境です。今年の夏には初めての研究口頭試問があるので、細かい言葉の定義を確認するなど小さいことの積み上げがとても大切になってきます。



私の研究室のデスク

イギリスの博士課程はフルタイムの全力で臨んで4年、他の仕事（臨床など）をしながらであれば早くて7年、時には10年以上コースになる人もたくさんいます。イギリスの研究室には世界中から優秀な人が集まってきました。さらに、大学からオファーをもらっていても、研究費などが取れず断念しなくてはならない人も多くいることも事実です。たくさんの方が途中で辞めていきますし、多くの博士課程の学生がメンタルヘルスと戦いながら研究を進めています。しかし、そのぶん、大学内に世界的な研究者が沢山いますし、多くの刺激の中で自分を磨くことができます。名前の頭にDrがつくことの重みを日々しっかり感じながら、修了に向けて頑張っています。

19:00 友達とディナー

この日は友達とご飯を食べにいきました。友人はサウサンプトン大学病院の救命センターで働いています。ほとんど冗談ばかりで、真面目な話をあまりしません。たまに最近の救命センターの様子や私の研究の進み具合などの話もします。今年の秋から一緒に家を借りてルームメートになる予定で、イギリスで一番古くて、仲の良い友達です。海外での生活は簡単なことではありませんが、たくさんの仲間たちに囲まれて、家族のように頼れる友達がいることはとても大事なことです。



22:00

家に帰って寝る支度をします。寝る前の1時間はできるだけ研究以外の本を読むようにしています。毎日、自分の研究で何万字という文字を読まないといけないので、たまに疲れて読書をスキップすることもあります。できるだけ、違う分野の本やフィクションを選ぶようにしています。たまに、日本語の本を読んで、日本語のレベルを落とさないようにも気をつけています。こんな感じで私の平日は過ぎていきます。

週末編

休日はロンドンに出掛けたり、カフェでゆっくり読書したり、たまに研究に追われて徹夜したりしています。毎週土曜日の朝9時から公園でランニングイベントがあるので毎週参加しています。海外生活も長くなってきて慣れたことも沢山ありますが、まだまだ新しいことを聞いたり体験したり、五感を最大限に使って楽しい生活を送っています。義肢装具研究の世界最前線での挑戦はうまく行かないこともたくさんありますが、日本人そしてOTの血が流れている自分に何ができるかワクワクしながら全力疾走の毎日です。年に一回、実家に帰って大手まんじゅうを食べるのを楽しみに生きています。最近、自分の海外体験や研究についての日本の病院、大学、高校へのオンライン講義も積極的に行なっています。



私の二刀流

今回の二刀流さん

川崎医科大学附属病院
鷲田 明広さん 30代



私は川崎医科大学附属病院で作業療法士として主に急性期の病棟を担当しています。最近では心疾患を担当することが増え、ICUなどとても緊迫した病棟へ入ることもあります。そんな私は今、ランニングにハマっています。皆さんはランニングというと何を思い浮かべますか？おそらくマラソンを思い浮かべた方がほとんどではないでしょうか。ランニングといっても、私の行っているのはトレイルランニング(通称トレラン)という競技です。

このコーナーでは、会員の作業療法の取り組みや、私生活で取り組んでいること、熱中していること、得意技などを紹介いたします。日々頑張っている会員の取り組みを知り、皆さんの活力にして頂きたいと思えます。

これは一般的な舗装路を走るものではなく、不整地、主に山道を走る競技になります。ちなみに10年ほど前まで私は長距離を走ることが苦手でした。「100mを超えたらそれは長距離」と思うほど走ることが苦手だった私になぜ走るようになったのかという話は省きますが、今回はトレランの魅力の(ごく)一部を語ってみようと思います。

山道を走ると聞くと過酷だと思われがちです。確かに過酷なレースも多いのですが、急峻な登りは歩けば

いいですし、足元の悪い場所はゆっくり慎重に足を進めればいいのです。マラソンよりも2~4倍くらいペースは遅く、途中で座って休んでもいいし、展望台でおにぎりを食べるのもアリです。ランニングという名前なのに9割くらい歩いていることもあります。

トレランの魅力はなんといっても自然を満喫できることです。森の中では森林浴を楽しみ、しんどい登りの後には素晴らしい眺めが待っています。仲間とワイワイと走るのも楽しいですし、汗をかいた後の温泉も最高ですね。走った日の晩は何も気兼ねなくビールが飲めます。



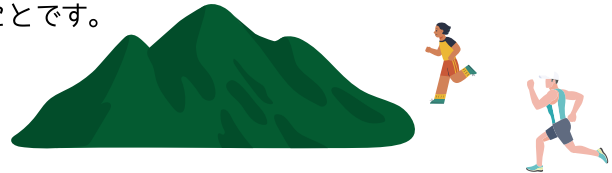
全国的には多くの大会(レース)が開催されていて、大会に参加するのも楽しいです。距離はまちまちで、短いものでは10km程度、長いものでは160km以上に及ぶものもあります。私はあまり長い距離のレースには出ませんが、岡山県内で開催されるレースを中心に出場しています。マラソンのような速い速度で長時間走り続けることが苦手な私でも、トレイルレースでは複数回優勝経験があります。

全国的には多くの大会(レース)が開催されていて、大会に参加するのも楽しいです。距離はまちまちで、短いものでは10km程度、長いものでは160km以上に及ぶものもあります。私はあまり長い距離のレースには出ませんが、岡山県内で開催されるレースを中心に出場しています。マラソンのような速い速度で長時間走り続けることが苦手な私でも、トレイルレースでは複数回優勝経験があります。

一般的に思い浮かべられるランニングが苦手であっても、それなりに走れてしまうというのもトレランの魅力の1つです。また他の多くのスポーツと違い、ある程度年をとっても楽しめます。私よりひと回りもふた回りも年上のランナーもたくさんいます。50歳を超えても私よりも速く、長く走る人も少なくありません。まさに生涯スポーツといえる競技です。

「山を走る」と聞くと敷居が高いと思われるがちですが、必要な装備さえ揃えれば誰でも簡単に始められます。ちょうどお花見シーズンです。岡山や倉敷にも走りやすい山はたくさんありますので、カロリー消費のためにも山を走ってみてはいかがでしょうか。

ちなみに私の2024年の目標はというと、富士登山競争の山頂コースを完走(あわよくば3時間半以内で)することです。



理事会報告

2023年度第5回理事会抄録

日時:2023年12月14日(木) 19:00~20:50 場所:岡山県作業療法士会事務局 ZoomシステムによるWeb会議

◎全会員数 1153名 入会 4名 退会 3名 11月30日現在

審議事項

◎会長

・部署課題の6か月後進捗確認について、各部局委員会の事業の進捗状況を記載していただきたい。

◎事務局

・後援依頼(1件)

特定非営利活動法人岡山県精神障害者家族会連合会主催「きばらしふえすていばる」カラオケ大会の後援 →承認

・派遣依頼(1件)

川崎医療福祉大学作業療法学科主催「令和5年度作業療法臨床実習指導者会議 研修会」への講師派遣。森川芳彦氏(川崎リハビリテーション学院) →承認

・2024年度事業計画と予算(案)について →承認

・事務局への問い合わせにて、研修会参加費500円を無料にしてみてもどうか →学術部にて継続審議

・選挙管理委員会の委員長の選出について、西濱美絵氏(しげい病院)を選出 →承認

◎施設代表者会議

・県民局毎の支部分け(備前県民局、備中県民局、美作県民局)を実行したい。 →承認

◎広報部

◎ニュース発行部門

・HP上の「岡山県作業療法士会の魅力」動画について、

ページを増設したい。 →掲載方法を再検討

・株式会社アークリード様の動画サイト内での「岡山県作業療法士会の魅力」動画の公開依頼について →再検討

◎地域包括ケア推進委員会

◎研修班

・県士会地域包括ケア推進委員会主催の導入研修について、中国5県士会で相談し、企画を行いたい。また、基礎・応用研修を、リハ団体に運営移行したい。 →承認 中国地区合同研修会で相談

◎岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会

・OTの派遣要件の見直しについて、SU研修受講者・MTDLP基礎研修受講者に変更したい。 →承認

◎3委員会合同委員会

・3委員会と事業部の一部を合同にして地域社会振興部として検討したい。 →次回理事会にて再審議 施行規則の変更等が必要であり。中国地区合同研修会でも組織について情報収集し、どの部・委員会を合同にしていくか検討する必要がある。

◎学術部

◎学会準備サポート委員会

・第36回岡山県作業療法学会の機器展示について、スタンプリナーを行い、景品(講師の書籍)が当たる企画を

- 検討したい。 →承認
- ・学生の参加費を無料にしたい。 →承認
- ・広報について、学生への参加を呼びかけるため、学生用の広報チラシを作成し、各養成校への掲示や声をかけを依頼したい。 →承認
- ・託児について、予算の計上は50,000円で行っている。シッター2名(65,700円)で対応可能な人数は5名と連絡があったため、5名で募集をかけたい。 →承認
- ◎組織強化委員会
- 第36回岡山県作業療法学会の対面開催に伴い、託児を行う予定。補正予算として、20,000円の追加をお願いしたい。 →承認

報告事項

- ◎MTDLP普及推進委員会
 - ・11月26日 MTDLP指導者養成勉強会 (Web研修会) 開催 参加者5名
 - ・1月28日 第2回MTDLP事例検討会 (Web研修会) 開催予定
- ◎災害対策委員会
 - ・日本作業療法士協会主催の災害訓練にて参加施設を増やす為、事前案内やメール、県士会公式LINE等で何度も呼びかけを実施した。参加率は例年通りだったが、万が一に備え継続していく。
- ◎連盟
 - ・1公明党政策要望懇談会、自民党各種団体懇談会に参加し、要望として「リハ職の処遇改善、保育・学校現場での連携支援に対する情報提供料の算定、生活機能向上連携加算の対象範囲の拡充、外来での精神科作業療法の拡大、訪問看護ステーションにおける人員比率に伴うリハ職の活動規制」の5項目について報告した。
- ◎事業部
 - ・11月9日 (一社)岡山県作業療法士会と(一社)岡山県指定自動車教習所協会との合同研修会「教習所における高次脳機能障害者の実車評価」開催。参加者19名(教習指導員16名、作業療法士2名、交通心理士1名)
 - ・2月22日 作業療法士と介護支援専門員の合同研修会(Web研修会)開催予定。テーマは「生活行為向上の為に訪問リハビリテーションを活用しよう～応用編～」
 - ・第1回 2月27日、第2回 3月13日、第3回 3月25日 医療と地域を繋ぐ移動支援 (Web研修会) 開催予定。テーマは～教習所利用の際の「同意書」と「岡山県版連携シート」の使用方法和ポイント～。
- ◎広報部
- ニュース発行部門
 - ・研修会割引実施の運用における試算について、研修会参加者に対しアンケート実施を検討する。中国4県の県士会員も会員料金を参加できるようになり、その導入前後の参加状況を調査する。また日本作業療法学会では早期割引が実施されており、今年の沖縄学会は9割が早期割引との情報であった。検討メンバーとして太田理事、藤岡理事、西理事、杉本理事、相談役に藤川事務局長に依頼し、現在進行中。
 - ・広報誌「春号」4月15日発行。巻頭言は川上理事。

- OTアピール部門
 - ・10月28、29日に「玉野元気が一番展」にて、県士会ブースを出展。
 - ・12月2、3日に「第30回精神障害者リハビリテーション学会岡山大会」にて県士会ブースを出展。
- ◎子ども地域支援委員会
 - ・11月24日 第2回研修会「放課後児童クラブ-作業療法士連携事業 放課後児童支援員との事例相談会(座談会)」(Web研修会) 開催。参加人数 20名(県士会員11名、放課後児童支援員9名)
 - ・11月2日 津山市児童クラブ連絡協議会主催 放課後児童クラブ職員研修会 講師として森川理事が出席
 - ・2月29日 放課後児童クラブ-作業療法士連携事業 報告会 開催予定
- ◎学術部
- 身体障害部門
 - ・3月10日 身体障害部門研修会 開催予定。テーマは作業療法士の資質を養う「～先見の明：目標を定める予後予測の力～」(仮)、講師は竹林 崇氏
 - ・令和6年度研修会について、引き続き会員への研修会企画の募集を行う。
- 学会準備サポート委員会
 - ・第36回岡山県作業療法学会について、演題は42演題。(テーマ演題は4演題、口述発表は18演題、ポスターは20演題)。学会誌広告と機器展示については、賛助会員より3件、新規企業より3件応募があった。
 - ・第37回岡山県作業療法学会について、学会長を募集中。
- 発達障害部門
 - ・12月23日 研修会 (Web研修会) 開催予定。テーマは「発達障害児の就学支援とその家族への関わり方について」、講師は石原詩子氏。
- 精神障害部門
 - ・12月2日、3日 日本精神障害者リハビリテーション学会第30回岡山大会 開催。当日スタッフとして柏原謙造氏(万成病院)、樋之津健二氏(岡山大学病院)、大藪匠矢氏(万成病院)、川上孝行氏(河口医院)の4名が県士会からの派遣として参加した。
- ◎訪問リハビリテーション推進委員会
 - ・令和5年度訪問リハビリテーション実務者研修会について、開催中止を決定。現状の準備については来年度開催へ向けて取り組むこととした。
- ◎地域包括ケア推進委員会
- 研修班
 - ・2月25日 フォローアップ研修(対面) 開催予定
- 岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会
 - ・12月3日 ステップアップ研修(対面とWebのハイブリッド研修会) 開催 参加者全体15名 (PT7名、OT7名、ST1名)
 - ・2月4日 第2回SU研修 (Web研修会) 開催予定
- ◎認知症支援委員会
 - ・11月23日 認知症作業療法基礎研修 (Web研修会) 開催
 - ・12月19日 認知症フォローアップ研修 (Web研修会) 開催予定 次回理事会 1月18日

2023年度第6回理事会抄録

日時:2024年1月18日(木) 19:00~20:30 場所:岡山県作業療法士会事務局 ZoomシステムによるWeb会議

○全会員数 1155名 入会 3名 退会 1名 1月12日現在

審議事項

◎事務局

- ・後援依頼 (2件)

岡山県医療情報技師会主催「第16回岡山県医療情報技師会研修会」(一社)岡山県通所介護事業所協議会主催「令和5年度大規模研修会」 →すべて承認

- ・派遣依頼（1件）
真庭圏地域医療構想調整会議委員の推薦 推薦者は飯嶋信博氏（落合病院） →承認
- ・支援依頼（1件）
「心のバリアフリーとリハビリテーションを推進する映画作成」の支援依頼。1口で協力 →承認
- ・日本作業療法士協会
「協会員＝士会員」実現のための方策と工程表（修正案）は3月理事会にて再検討する。協会永年会員制度への対応については、定款や定款施行規則等の改定も踏まえながら検討していく →3月理事会にて再審議
- ◎広報部
- ニュース発行部門
 - ・「岡山県作業療法士会の魅力」動画のHPページ掲載方法について →バナー追加にて対応
 - ・「岡山県作業療法士会の魅力」動画のアメポケ公開について →HPのみの公開とする
- ◎学部
- ・学部部研修会の学生の参加費について、会費を無料として学生の参加を募る。養成校によって広報が偏らないように留意し、1年後見直し予定とする。 →承認
- ◎事業部
- ・岡山市から令和6年度から開始されるケアマネインセンティブ事業について、事業部派遣事業として事業を進めたい →承認
- 報告事項
- ◎事務局
- ・令和6年能登半島地震について、該当士会への義援金・支援金については、情報収集を行いながら検討していく。
- ・レクリエーション傷害保険について、福利部にて会員への広報（県士会ニュース、研修会案内）を行う。
- ・山口県作業療法士会設立40周年について、お祝い金（1万円）と祝電を行う。
- ◎地域包括ケア推進委員会
- 広報班
- ・地域支援事業の参加要件緩和について、県士会HPに掲載。
- 岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会
- ・2月4日 第2回SU研修（Web研修会） 開催予定
- ◎中国地区作業療法士会合同研修会
- ・12月16日 令和5年度中国地区作業療法士会合同研修会

- に岡山県から12名（理事8名、会員4名）派遣。
- ◎認知症支援委員会
- ・12月19日 認知症フォローアップ研修（Web研修会）開催
- ・1月27日 認知症作業療法実践事例報告会 開催予定
- ・1月20日 2023年度士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会 開催予定。参加者は大森 大輔 氏（四国医療専門学校）
- ◎災害対策委員会
- ・1月8日JRAT本部の会議に出席。被災地の状況を共有した。1月18日現在、JRATは6隊が活動しているが、本部スタッフ、派遣チームとも全く足りていない状況であり、岡山JRATから施設代表者へ向けて、現地活動スタッフの募集を開始している。
- ◎学部
- 身体障害部門
- ・3月10日 令和5年度身体障害部門研修会 開催予定。場所は川崎医療福祉大学。テーマは「作業療法士の資質を養う『～先見の明：目標を定める予後予測の力～』」講師は竹林 崇氏（大阪公立大学）
- 学会準備サポート委員会
- ・12月20日、第36回岡山県作業療法学会、学会誌完成（PDFデータ）、参加申し込み開始。表彰は、学会長賞、優秀演題賞、若手奨励賞のほか、5つの賞で表彰を行う。
- ・第37回岡山県作業療法学会について、締切りの12月末日までに学会長の応募がなく、募集延長。
- ◎事業部
- ・2月17日～2月29日 第2回あいサポーター研修（YouTube） 配信予定 参加対象は岡山県作業療法士会会員。
- ◎保険部
- ・報酬改定情報について、令和6年3月31日まで施設代表者メールと県士会LINEにて運用し、令和6年4月1日より県士会LINEのみとする。
- ・OT協会が運営している福祉用具支援システムと生活環境支援推進室事業について、協会担当者より岡山県士会の参加のお招きを頂いており、次回以降の理事会で方向性を検討したい。
- ◎広報部
- ニュース発行部門
- ・広報誌「新年号」1月5日 発行

次回理事会 3月21日

事務局からのお知らせ

新入会者の皆様へ

岡山県作業療法士会への入会手続きはホームページの
[入会・退会・所属変更]よりお願いいたします。



入会・退会・所属変更



○登録情報の確認・修正について

岡山県作業療法士会における会員の皆様の登録情報の管理は、日本作業療法士協会会員管理システムにて管理(1本化)しています。登録情報の確認・修正は、日本作業療法士協会ホームページの会員ポータルサイトよりお願いします。登録情報に誤りがある場合、発送物が届かなくなる可能性もございます。会員情報(付帯情報)の入力が完了しておられない方は必ず登録をお願いします。

○発送について

日本作業療法士協会の発送区分に従い送付する事となりますのでよろしくお願いします。

○岡山県作業療法士会の入会・退会・休会について

岡山県作業療法士会ホームページの入会・退会・所属変更をご参照下さい。
休会については、日本作業療法士協会を休会されると、自動的に県士会も休会になります。休会を希望される方は、日本作業療法士協会のホームページをご参照ください。

○年会費について

会員年会費:10,000円
 新入会員:11,000円(年会費+県士会入会金1,000円)
 原則、全会員が自動引き落としでの会費徴収となります。まだ、申し込みをされていない方は至急申し込みをお願いいたします。申し込み用紙を紛失された方は事務局までご連絡ください。
 ※自動引き落としの申し込みをされていない方は7月末までに入金をお願いします。定款規約第10条第1号の3項に基づき、2年未納の方は除名になるおそれがありますのでご注意ください。
 振込先 中国銀行 奉還町支店 普 1921671
 一般社団法人岡山県作業療法士会 代表理事 西出康晴

○研修会参加費について

該当年度の会費未納者は研修会参加費が非会員扱いとなっています。
 自動引き落とし申し込み済者は会員扱いとなります。研修会へ参加される1週間前の時点で入金を確認できない場合は、非会員扱いとなりますのでご注意ください。
 事務局長：藤川 信 万成病院 県士会専用 TEL 086-256-2701
 FAX 086-256-2702
 E-mail okaot_jim@okayama-ot.or.jp



「あいサポート」とは「愛情」の「愛」、私の「I」に共通する「あい」と支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ障害のある人を優しく支え、ちょっとした手助け(*)をすることを意味しています。

「あいサポート運動」とは様々な障害の特性を理解して障害のある方が困っていることに対して、ちょっとした手助けや心くばり(*)などを実践することで誰もが暮らしやすい地域社会(共生社会)を目指していく運動です。



あいサポート運動は岡山県が実施している運動です。

*ちょっとした手助けや心配りの例

- ・困っていそうな人を見かけたら「何かお困りですか?」と声を掛けてサポートする
- ・ご高齢の方やお身体の不自由な方に公共交通機関で席を譲る
- ・必要と思われる方にヘルプマークを紹介する

(岡山県ホームページより)



岡山県作業療法士会は、「あいサポート運動」の趣旨に賛同し、あいサポートの輪を広げる活動を行っています。



アール・ケアグループ

挑戦はまっ先に。サービスはまっすぐに。

一般社団法人 アール・ケア ホールディングス

株式会社 アール・ケア

医療法人ブランドル医会 ハーヴィスクリニック

NPO法人 アール・ケア スタイル

株式会社 アール・ケア クルーズ



株式会社 アール・ケア | 本社 | 〒706-0134 玉野市東高崎 25-34

Tel: 0863-73-5085/Fax: 0863-73-5077

作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・医師・看護師・薬剤師・放射線技師・社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・管理栄養士・医療事務…



リスコは医療・福祉専門職の登録者様 **6,500**名以上
地元岡山で**24**年。リハビリからスタートした会社です

リスコは地元岡山で24年。医療・福祉の専門職に特化した人材紹介業を展開し、多くの病院・施設様から長年の信頼をいただいております。国家資格保有のキャリアコンサルタントが在籍し、対面での面談で求職者様お一人おひとりのご要望をしっかりと伺いした上で、責任を持ってご紹介させていただきます。
※今すぐの転職をお考えでない方も、まずは「働き方」に関するご相談だけでも可能です。

医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15岡山商工会議所ビル8F

 **0120-235-565** (平日9:00~18:00)

<https://www.risuco.com>

で検索!



【厚生労働省許可番号】紹介 (33-1-300017) 派遣 (派33-300044)



輝け、自分。羽ばたけ、未来へ

吉備国際大学 大学院

通信制

2024年4月開設

保健科学研究科 理学療法学・作業療法学専攻 修士課程

本専攻では、保健科学の基礎から応用まで学び、心身機能障害や生活機能障害に関する研究課題を解決できる知識と技術を修得し、理学療法学・作業療法学に関する高度な教育研究ができるようになる教育課程を編成しています。

- 特色1** 通信制で「修士(保健学)」を修得可能
- 特色2** 仕事と両立できる大学院教育の提供
- 特色3** 指導的役割を担う高度専門職としての理学療法士・作業療法士の養成
- 特色4** 理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の専任教員要件に対応したカリキュラム

Style

- 現職のまま研究力を修得したい
- 臨床家としてさらに活躍したい
- 将来的に教育研究者になりたい

Brush up

- 長年行ってきた研究を系統立てて見直す必要を感じていた
- 後輩に対してきちんと指導できているのだろうか
- 最近業務に慣れてきたし…

Lifework

- 日々の臨床を第一にしながら学びたい
- 通信なので自分の興味と仕事の継続が可能
- 職場スタッフと共に、あるいは家庭と共に充実した日々が送れると確信

募集課程・募集定員及び修業年限

研究科	専攻	課程	募集定員	修業年限
保健科学研究科	理学療法学・作業療法学専攻*	修士課程	15名	2年

*理学療法または作業療法の実務経験が3年以上必要になります。

- ◆ 専門学校や短期大学卒で出願資格に該当せず、個別の出願資格審査を希望する方は、通信教育事務課 (tsushin@kiui.ac.jp) までご連絡ください
- ※ 出願受付期間の2週間前までに必要書類の提出が必要になります
- ◆ 社会人入学者を対象とし、最長4年間で計画的に修了を目指す長期履修制度があります

お問い合わせ

吉備国際大学 通信教育事務課 TEL.0866-22-9191
✉ tsushin@kiui.ac.jp

保健科学研究科 作業療法学専攻
(修士課程) HP



橋本義肢製作(株)は、
おかげさまで創業80年を超えました。
(1940年 昭和15年 創業)

今までの技術を残しながら、
新しい技術や知識を積極的に取り入れ、
新しい分野を今以上に創造できるよう、
努力いたします。

昭和50年ごろの作業場風景



義肢・装具のご相談・製作・修理は
橋本義肢製作株式会社

http://www.hashimoto.co.jp E-mail ▶ info@hashimoto.co.jp
〒702-8025 岡山市南区浦安西町 32-13 TEL 086-262-0126 FAX 086-262-5455



Instagram
はじめました



新たな 一歩を照らす。

見つからなかった
答えを見つけていく。
見えなかったことが
見えてくる。

株式会社 創心會
社会福祉法人 創心福祉会
株式会社 ハートスイッチ
株式会社 リンクスライヴ
合同会社 ど根性ファーム
合同会社 連
そうしんクリニック茶屋町

SOUSHINKAI GROUP

創心會

グループ

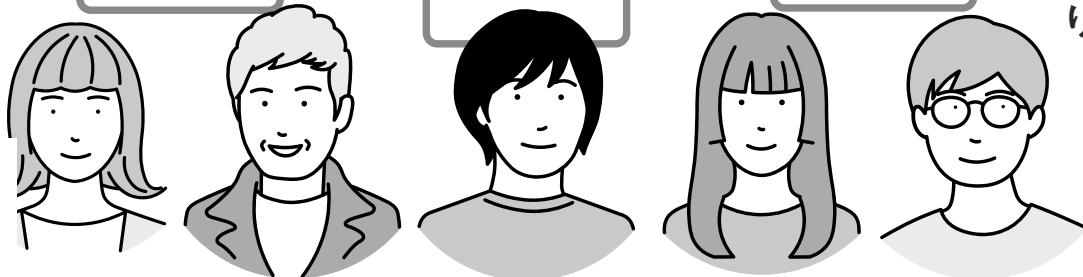
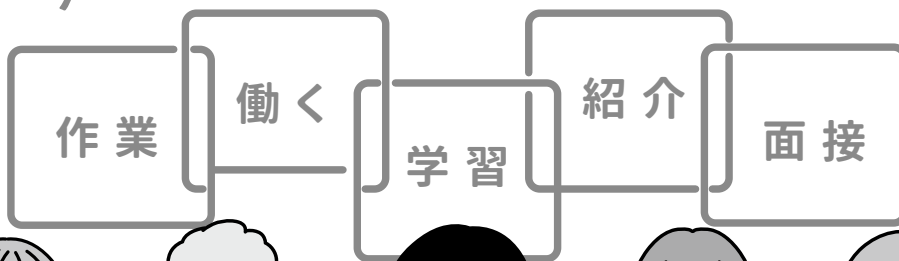
本部

〒710-1101 倉敷市茶屋町2102-14
TEL.086-420-1500(代)

人と仕事を結びつけるネットワーク

人がイキイキと
働けるご縁づくり

人生と成長を支援



HEART SWITCH



株式会社ハートスイッチ

人財・研修

資格研修
医療介護人材紹介

ハートスイッチ倉敷校 **就労移行** **定着支援**

ハートスイッチ岡山校 **就労移行** **定着支援** **相談支援**

ハートスイッチ岡山南校 **就労移行** **定着支援**

ハートスイッチ東岡山校 **就労移行** **定着支援** **相談支援**

倉敷市茶屋町2104-1 TEL.086-420-1500(代) www.heart-swich.com



訪問看護ステーション タウンサークル

主として精神疾患を有する方々の訪問看護とリハビリテーションに
多職種で取り組んでいます



(株)八豊会

〒700-0952 岡山市北区平田 153-103

TEL : 086-259-2021 FAX : 086-259-2022



詳しくはHPで **URL** <https://town-circle.com/>



地域とともに「ひろがれ！笑顔」

《施設概要》

- 精神科一般病棟
- 精神科療養病棟
- 認知症治療病棟
- 精神科デイケア

《関連施設》

- 多機能型事業所 ひまわり
(夜間宿泊型、自立支援、就労継続B)
- ケアホーム・グループホーム
(ひまわりホーム しらゆりホーム)
- 訪問看護ステーション
(岡山リハ・ケアステーション)
- 介護老人保健施設
(岡山リハビリテーションホーム)
※通所 (デイケアセンター)
短期入所 (ショートステイ)



中島バス/各万成院前所より徒歩1分 JR赤穂線/三門駅より徒歩10分

日本医療機能評価認定病院
臨床研修病院指定 精神神経学会専門医研修施設 認知症学会教育施設



万成病院PR動画



特定医療法人
まん なり

万成病院

〒700-0071

TEL (086) 252-2261 (代) FAX (086) 254-0800

URL <https://mannari.or.jp> E-mail mannari@mannari.or.jp

一般社団法人
聖武福祉会



理念

会社の理念として、
スタッフの健全の上で、
産前・産後ケアから亡くなるまで
一貫して福祉サービス提供ができるよう、
今後様々な事業展開をしていきたいと
考えています。

想

法人代表は作業療法士で、
重度の障がいがある兄と一緒に過ごす中で
本当に必要と感じた福祉サービスを提供したい
という想いで創業しました。



事業拡大に伴い、随時スタッフ募集中です。
児童福祉・障害福祉にご興味のある方はお問合せください。

他の事業所ではリハビリスタッフ1人のところが多いですが、当事業所は複数名リハビリスタッフがあり、一緒に学びながら療育をすることができます。



「福祉車両があったら楽になるのに・・・」

でも、

「選び方が分からない」「新車は予算的に無理」

「どこに相談すれば・・・」



オアシスジャパンでは、福祉車両の ①中古車販売 ②改造 ③レンタカー

④買取り ⑤助成金、税金免除のアドバイス など、お力になれるかもしれません。

(株)オアシスジャパン

☎086-277-4030

岡山市中区江崎210

AM9:00~PM7:00 定休日 日曜

ホームページも見てください!→

[オアシスジャパン](#)

[検索](#)



We will help you improve your quality of life.



医療・福祉・介護用品の総合プランナー

株式会社 舟木義肢

一般社団法人日本義肢協会中国四国支部



不要な羽毛ふとんはありませんか？
東洋羽毛が無料でお引取りします。

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。



引取り詳細▶

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外は引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。

TUK Link Project



東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所
〒700-0845 岡山県岡山市南区浜野4-3-37



～お問い合わせはお気軽に～
0120-224711



OG Wellness
Wellness and Beyond

筋刺激と鎮痛に加えて
測定まで
幅広い疾患や
症状で活躍



IVES Pro

電気刺激装置 / 筋電計
アイビスプロ / GD-6122・GD-6124

販売名: 電気刺激装置 / 筋電計 GD-6122
電気刺激装置 / 筋電計 GD-6124
認証番号: 304AABZX00050000 (GD-6122)
304AABZX00051000 (GD-6124)
一般的名称: 低周波治療器 / 筋電計
クラス分類: 管理医療機器 / 特定保守管理医療機器

GD-6122
最大2ch出力



GD-6124
最大4ch出力



物理療法機器・リハビリ機器・介護用入浴機器 **オージー技研株式会社** www.og-wellness.jp

【岡山本社】〒703-8261 岡山県岡山市中区海吉1835-7 Fax.086-274-9072
【東京本社】〒100-6004 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング4階 Fax.03-3519-5020
【事業所】北日本支店・札幌営業所・盛岡営業所・北関東支店・新潟営業所・南関東支店・横浜営業所・千葉営業所・中部支店・金沢営業所・関西支店・神戸営業所・中四国支店・広島営業所・高松営業所・九州支店・鹿児島営業所 ad-72-2403-0

受付時間 (平日・休日 共通) 9:00~17:00 | 【平日受付コールセンター】 ☎ 0120-01-7181 | 【休日受付コールセンター】 ※ 土・日・祝・年末年始 専用 ☎ 0120-33-7181



岡山県の作業療法士の方へ

滝行より
楽しく学べる



アメポケ

岡山県の医療福祉業界の方々のステップアップを目的とした、学びや面白さの詰まった情報満載の動画配信サイト。専門的なことから、働き方やセルフケアなどが気軽に学べます。しかも、講師のほとんどが岡山の専門家です!

岡山県の医療福祉業界の方々のステップアップを目的とした、
情報動画配信サイト

まずはアメポケLINE
公式アカウントからアクセス!

詳細はHPをご覧ください



最新情報から
動画リクエストまで、
LINEなら簡単!



アメポケ会員様限定の
お得な情報あり!



モノづくりとコトづくりのトータルプロデュース

75年間、「農」のフィールドで培ってきたさまざまな知識、幅広いサービス、それを展開するツール…

これらの「ノウハウ」を多業種へ展開し、地域を元気にします！

印刷

デザイン

Web

イベント
SNS



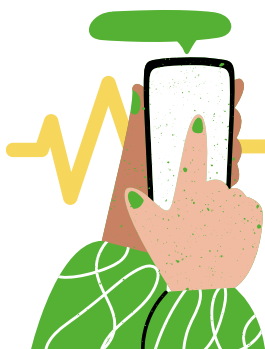
ノーイン株式会社

〒700-0031 岡山市北区富町2丁目5番27号
TEL. (086) 252-5141(代) FAX. (086) 254-4019

www.feel21.co.jp/



公式LINEアカウント



県士会情報配信中

<https://lin.ee/u1cnUJC>

今すぐ追加 →



賛助会員

A会員

吉備国際大学 作業療法学科
橋本義肢製作株式会社
株式会社 リスコ
株式会社 創心會
オージー技研株式会社

医療法人 万成病院
株式会社 アール・ケア
訪問看護ステーション タウンサークル
就労移行支援 ハートスイッチ
一般社団法人 聖武福祉会

B会員

株式会社 舟木義肢
東洋羽毛中四国販売株式会社岡山営業所
株式会社 アークリード

株式会社 オアシスジャパン
ノーイン株式会社

最新情報・研修会詳細などは、HP、
SNSをご覧ください。



県士会HP



公式LINE



公式X

編集後記

春は出会いと別れの季節です。皆様の職場においても、入退職があったのではないのでしょうか。私は養成校の教員をしているため、3月には学生さんとお別れをし、4月には新入生を迎えます。毎年のことながら卒業生には、仕事を楽しんで欲しいと思います、新入生には学校生活を楽しんで欲しいと思います。

私は、楽しむためには、何かしらに「挑戦」することが大切だと考えています。そのため、毎年何かしらの形に残るような資格取得に「挑戦」しています。本年度もいくつかの資格取得への「挑戦」を予定しています。

岡山県作業療法士会においては、様々な研修会やイベントを企画しております。これらの研修会やイベントが県士会員の皆様の「挑戦」の一助になってもらえたらうれしいです。
(I.W)

一般社団法人岡山県作業療法士会ニュース 年4回発行(1、4、7、10月)

◇求人広告 1/4頁2500円 1/2頁 5000円 (詳細はHPもしくは広報部 杉本まで)

発行人：西出康晴

発行所：〒700-0071岡山県岡山市北区谷万成1-6-5 万成病院内 一般社団法人岡山県作業療法士会事務局
TEL 086-256-2701 FAX 086-256-2702

印刷：ノーイン株式会社

投稿先：〒702-8053 岡山市南区築港栄町2-13 佐藤病院 杉本 努

TEL 086-263-6622 FAX 086-264-6769 E-mail okaotnews@hotmail.com

一般社団法人 岡山県作業療法士会 令和6年3月19日 現在
会員数 1156名